

授業科目	観光社会学				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21418J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	友原 嘉彦							
授業概要	この科目では観光のさまざまな現象について学んでいく。観光者と観光地、そして両者を繋ぐ観光メディアについて多角的に考察する。この科目を通して、現在までの観光の主要な現象を知り、新しい現象にも対応できる、さらには新しい現象を創り出せる力を身につけてもらいたい。							
学生が達成すべき行動目標	現在までの観光者や観光地、観光メディアなどの主な動きについて把握し、観光における諸現象を理解できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	0	40	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20		20			10	50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20		20			10	50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
さまざまな観光の現象、観光者と観光地、観光メディアについて十分に理解できている。				さまざまな観光の現象、観光者と観光地、観光メディアについて理解できている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・ガイドンス ・観光社会学の現状と課題			講義		復習		60

2	・観光者 ・マス・ツーリズム 1	講義	復習	60
3	・マス・ツーリズム 2 ・持続可能な観光	講義	復習	60
4	・エコツーリズム ・グリーン・ツーリズム	講義	復習	60
5	・都市観光	講義	復習	60
6	・産業観光	講義	復習	60
7	・ダーク・ツーリズム ・タナトス・ツーリズム	講義	復習	60
8	・観光の真正性	講義	復習	60
9	・観光とジェンダー	講義	復習	60
10	・観光とコミュニケーション	講義	復習	60
11	・紀行	講義	復習	60
12	・ガイドブック	講義	復習	60
13	・観光とホスピタリティー	講義	復習	60
14	・バックパッカー	講義	復習	60
15	・女子旅	講義	復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃より新聞やインターネットなどで国内外の観光の動向を把握しておくこと。			
テキスト	レジュメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・安村克己、堀野正人、遠藤英樹、寺岡伸悟編著（2011）『よくわかる観光社会学』、ミネルヴァ書房、2600 円＋税 ・須藤廣（2008）『観光化する社会—観光社会学の理論と応用』、ナカニシヤ出版、2500 円＋税 ・Dean Maccannell 著、安村克己他訳（2012）『ザ・ツーリスト 高度近代社会の構造分析』、学文社、3500 円＋税 ・John Urry, Jonas Larsen 著、加太宏邦訳（2014）『観光のまなざし』、法政大学出版局、4600 円＋税 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この科目での学びを通じて観光の現象を見る目を涵養し、ぜひさまざまな観光を実際に体験してください。			
達成度評価に関するコメント	<p>「わかっている」つもりでいても、実際は違ったり、新しい現象が起きていたりすることも多々あります。ぜひ多くの観光を経験してください。</p> <p>達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけでなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、過ぎた講義回での項目について復習していることで簡潔にまとめて説明してくれたり、といったことが得点の増加に関係します。一方、これらが不十分だけでなく、授業を中断せざるをえないほどの声量で授業とは無関係のことについてしゃべっているなどした場合は得点の減</p>			